



◇ 連絡表「あゆみ」について

令和2年度より、市内統一の連絡表（あゆみ）が採用され、四日市市のすべての公立小学校で使用しています。この連絡表では、主にお子様の成長の様子や今後のめあてになるものを中心にお伝えします。

連絡表「あゆみ」や担任との懇談を通して、お子さんの良い点や進歩した点について、褒めて認めてあげてください。そして、さらに努力させたい点について理解させ、励まし、元気づけ、やる気を引き出してください。そのための資料として、連絡表をご活用くださいますようお願いいたします。以下に、それぞれの欄について説明します。

【学習のようす】⇒教科の評価項目ごとの達成度を評価しています。

教科の単元・領域ごとの到達目標をどの程度達成できているかを、「◎」「○」「△」の3段階で評価します。ただし、1年生1学期のみ、「○」「△」の2段階評価です。

◎＝よくできました。特に優れた力がつきました。

○＝できました。おおむね力がつきました。

△＝がんばりましょう。もう少し力をつける必要があります。

【行動のようす】⇒その子の「よさ」・「がんばり」を評価しています。

他の児童と比べるのではなく、その子のよさや可能性を評価するという観点に立ち、「すぐれている」または「特に成長した」と判断される場合に「○」をつけます。「努力を要するもの」がある場合は、個別懇談時あるいは「学校から家庭へ」の欄でお知らせします。

【「学校から家庭へ」の欄について】

この欄は2学期に、担任からご家庭へのお子さんにに関する所見を記入します。学校での学習面・行動面の様子を中心に、「良かったこと」や「更なる努力を期待したいこと」などを文章でお伝えします。1学期は「懇談済み」と記入します。

【「道徳」の評価について】

道徳は、その学期に学習した内容（教材名や具体的な内容項目を記述しています。）から、学習活動におけるお子様の具体的な取組状況や道徳性に関わる成長の様子を文章で評価しています。

【「特別活動の記録」について】

学級の係、クラブ（4年生以上）、委員会（5・6年生）や児童会役員や〇〇委員長のよう
に任命されたこと、集会で表彰されたことについて記入します。

【「出席の記録」について】

新型コロナウイルス感染症にかかわる欠席であると判断できる場合は「出席停止」として記録します。（主に、本人や家族等に発熱等風邪症状がある場合）

【学習の様子における「観点」について】

■「知識・技能」について

「各教科の目標に示された知識及び技能の習得状況」や「新しく獲得した知識及び技能を他の学習や生活場面でも活用できる程度に習得しているか」を評価します。

【評価方法について（例）】

- ・ 学習の中で行われるすべてのテストや学習の様子。
- ・ 観察・実験の技能（理科）や資料や情報をまとめる技能（社会科）にかかわる授業中の様子、ノートやプリントなど。
- ・ 「音楽・図工・家庭・体育」では、知識の習得状況に加えて、教科の特質に応じた技能が習得できているかを、活動の様子や作品、記録などから総合的に判断。

■「思考・判断・表現」について

各教科等の知識及び技能を活用して、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかどうかを評価します。

【評価方法について（例）】

- ・ 学習の中で行われるすべてのテストや学習の様子。
- ・ 作品制作や表現の工夫の様子。

■「主体的に学習に取り組む態度」について

「各教科等の学習内容に関心をもつこと」「主体的な学びの姿」「学びに向かう姿勢」を、記述や発言など、学びに向かう取組状況の観察等で評価していきます。

【観察する姿について（例）】

- ・ なぜできるようになったか、できるようになるために何をしたか、具体的に次の学習の見通しや目標をとらえているかなど、児童自身が自分の学習を振り返り、意欲を高めている。
- ・ 友だちの考えの意図をたずね、自分の考えと比較・吟味して自分の考えを確かにしたり、さらに良いものに変えたりしようとしている。
- ・ 聴き手に伝わるように、話す事柄の順序を考えたり表現を工夫したりしている。